



発明の名称

果実野菜皮むき装置及び果実野菜皮むき方法

～スキルを必要とせず、南瓜などの皮を所定の厚さで均一にむく技術～

発明者

星野 洋平（北見工業大学）

技術概要

果実野菜の皮むきは熟練した作業員のスキルが必要であるため、スキルを必要としない皮むき技術の開発が求められていました。そこで、ピーラが果実野菜の表面に沿ったなぞり動作で皮むきするように、ピーラの果実野菜に対する押し込み力が一定となるようにアームの回動を制御し、アームを回転軸と垂直な軸を中心として回動させる第1の回転手段と、アームを回転軸と平行な軸を中心として回動させる第2の回転手段を備えた皮むき装置の開発により、南瓜のような硬質で幾何学形状の多い皮でも所定の厚さで均一にむけるようになりました。

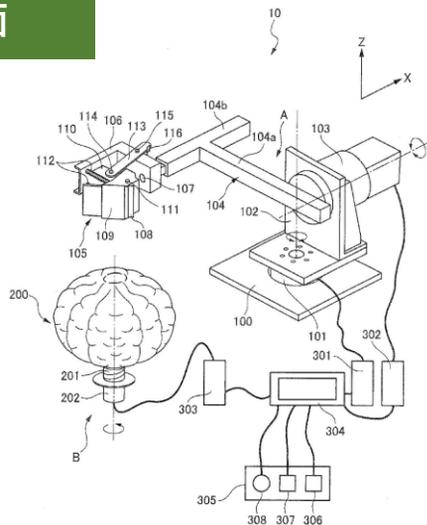
発明の目的

硬質で凹凸が多く、偏心率が大きい南瓜などの果実野菜であっても、表皮を余すことなく所定の厚みで均一に連続してむくことができる装置、方法を得ることです。

効果

果実野菜の表皮の皮むきを行うピーラを、果実野菜の表皮の幾何学形状に応じて方向を制御して変位させ、ピーラの刃を常に所定の力で押し当てて皮むきを行うように構成することで、所定の厚さで均一に皮むきができます。

図面



詳細はこちら

工業所有権情報・研修館のサイトに移動します

出願・登録

出願日	設定登録日	存続期間満了日
2018/08/02	2022/11/10	2038/08/02